8月 30 日(日曜日)「中風の人の癒し」

【新改訳 2017】

ルカ　5.17-26

「するとそこに、男たちが、中風をわずらっている人を、床のままで運んで来た。‥‥‥彼らの信仰を見て、イエスは『友よ。あなたの罪は赦されました』と言われた。ところが、律法学者‥‥‥たちは、理屈を言い始めた。‥‥‥」(18-21 節)

この箇所も聖書で全体を読んで考えてもらいたいと思います。

教訓は、次の各々の焦点で学ぶことができます。①病人をイエスさまの所に連れて来た男たちの信仰。②中風の人。③主イエスご自身のことばと行動(わざ)。④理屈を言った律法学者たち。⑤病気と罪の関係。この各焦点からたくさんの教訓を学べます。

考えてみてください。主はここで、中風の癒しの求めに対し、罪の赦しを宣言しました。律法学者たちは、神以外に罪を赦すことはできないとクレームをつけましたが、主は罪の赦しと癒しの両方を断行されました。

このことは、イエスが神の御子キリスト（救い主）であることの現れであり、証明でもあります。主は信頼すべきお方なのです。

～祈り～

主よ。あなたは、霊的にも肉体的にも人を癒すことができる方であることを感謝します。

【学びのために】

主の癒しは、ここでは、症状治療だけではなく、原因（根本）治療でもあることも知らされます。